

《公立公的病院等再編・統合阻止》

2022年2月5日

424 愛知共同行動 通信

NO. 175

発行：「424 愛知共同行動」事務局 愛知社保協地域医療委員会
(文責：長尾・☎052-871-7856)

新型コロナウイルス感染拡大

《現感染者》66.4万人突破！ 2月2日0時現在-厚労省集計

☆データ集計があるかも分かりませんが、この「現感染者」の背景に**100万人を超える「濃厚接触者（自宅待機者）」の存在を忘れてはなりません！**
*濃厚接触者に対する「感染者」並みの「待機支援」が必要です！

⇒濃厚接触者は、少なくとも感染者の2倍以上と予測しています。

新型コロナ「第6波」は2月2日集計（厚労省発表）で「現感染者数」がついに**66万人**をこえました。（内訳＝入院—2.3万人、宿泊療養—2.2万人、自宅療養—43.7万人、療養先調整中—18.1万人）となっています！

*愛知県＝3万8,245人（入院—992人、宿泊療養—647人、自宅療養—3万846人、療養先調整中—5,760人）

「自宅療養者」が全体の66%にも達している問題とともに、2月2日0時の集計で、前日の新規感染者数（約8万人）を大幅に超えて18.1万人もが「療養先調整中」（実質＝自宅で待機・療養中ということ）となっています。つまり、この時点での実質自宅療養者は61.8万人（現感染者全体の93%）にも増加していることとなります！感染が確認されても、その日の内に療養先が決まらない感染者が東京—5.9万人、大阪—5.1万人も自宅で待機させられています！ 2/2時点での入院確保病床は4.4万床あり、入院2.3万人、病床使用率52%となっていますが、機敏に入院対応できない問題が各医療機関に存在し、入院確保病床を100%活用は無理です！ 同様に、「宿泊療養」も6.9万室確保されている中で利用者は2.2万人—33%の利用に留まっています！

その結果が、膨大な「自宅療養者」の存在となっています！

*愛知県＝「自宅療養者」3万846人（81%）、「療養先調整中」5,760人（15%）⇒**合計3万6,606人（95.7%）**

毎日10万人近い「新規感染者」により医療のひっ迫が問題となっている中で、「検査体制」と「検査実施」はどうなっているか？という点、厚労省発表の**全国検査能力は1日110万件**（12/7現在＝PCR60.7万件、抗原定量8.2万件、抗原定性41.2万件）と公表されています。しかし、実際の検査実施状況では、PCR検査結果について—**1/24-25.5万件、1/25-30.5万件、1/26-32.6万件、1/27-32.4万件、1/28-31万件**と公表され、この時点でのPCR検査能力は39万件とも公表されています。つまり、検査実績そのものが少なすぎる点と、検査できる体制の整備が全く手遅れで感染爆発に対応できていないという点が問題です！ *2/3までの**当初から延べ検査は3,299万件**—陽性者300万人（9.1%）にすぎません！ 国民の3割しか「検査」を受けていないという実態です！

愛知県＝**検査能力1日62,192件**（12/7＝PCR検査27,499+抗原定量1,493+抗原定性33,200）に対し、1/24～1/30までの**PCR検査実施件数-48,871件（1日平均6,982件）**と公表されています。*なぜ、こんなに少ないのでしょうか!?